

精密プレス加工とデジタル化で 地域の未来を牽引する

1946年に創業。主たる事業は、事務機器、産業機械、建設等に使用される高精度プレス製品の製造、金型設計、開発・設計・提案である。プレスによる新工法開発の提案力に強みを有し、顧客の生産性向上に貢献する。顧客からの多品種の中少量の要望に対して、金型の内製化及び作業のロボット化を推進した独自の生産プロセスは、顧客および地域から高い評価を得ており、経済産業省「地域未来牽引企業」に選定されている。また、環境省のエコアクション21に基づく認証を取得し、環境マネジメントにも力を入れている。

所在地	群馬県伊勢崎市赤堀今井町2-1044-1	設立	1946年
電話/FAX	0270-63-0001/0270-63-2070	資本金	8,000万円
URL	https://www.hokuto-g.co.jp/index.html	従業員数	47名
代表者	代表取締役社長 高草木 篤		



プレス加工技術研究による工法転換でコストダウンと付加価値向上を実現

金型製造において、従来の切削や溶接などの加工方法を精密プレスに転換し、生産性向上と圧倒的なコストダウンを実現させた。重要な要素技術開発は、群馬高専や群馬産業技術センターと共同研究を実施。開発の質と量の向上と工学的手法の実際の生産現場への展開に取り組み、大手メーカーなどの顧客から高い評価を得ている。また、精密プレス工法を活かす製品化提案にも注力する。製品構造ニーズ把握の段階から参画し、設計・製造・施工・管理・運用を全体最適の視点から製造を具現化することで価値を創出している。



精密プレス加工技術による製品

デジタルファクトリー化への挑戦

材料の性質のばらつきを許容し、生産性の向上を実現させる革新的な生産プロセスの開発・研究に、群馬県の産業技術センターと共同で取り組む。データの収集にIoT・ロボットを活用し、熟練作業者の感覚をセンサーで捉え、暗黙知の形式知化を実現する。固定具の生産プロセスである材料、レバー、プレス、溶接の一連の工程をデジタルデータでつなぎ、実際の因果関係から制御が進化し、最終的に全ての製造工程が最適に改善されるデジタルファクトリー化の実現にチャレンジする。



デジタルファクトリー

地域の未来を牽引し、「生き残る」経営を実践

自然災害（東日本大震災や関東東北豪雨災害等）で被災した事業者およびその関連事業者の早期復興を目的として、当該事業者らからの部品の応援購買や設備的、技術的な支援も行っている。また、利益の一部を地域の慈善団体に寄付し、地域全体の復興支援を通じてサプライチェーンの確保に努めている。地域の未来を牽引するためにも、自社が「生き残る」戦略的経営を実践する。受注リスク低減する顧客の分散から始まる経営プロセスの具現化とともに、人財・デジタル・ロボットなど、未来への投資を惜しまない。



2017年 地域未来牽引企業に選定